

新型コロナウイルスワクチン接種に向けた組織体制の整備について

1 感染症等対策室の体制整備

新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施に向け、健康福祉部感染症等対策室に県内医療従事者（約16万人）への優先接種にかかる医療機関との調整、ワクチンの流通調整、市町支援等を担う「ワクチン対策課」を新設するとともに、ワクチン対策課に「参事（ワクチン対策担当）」を設置【令和3年1月25日、課及び参事はダブルポストとして設置】

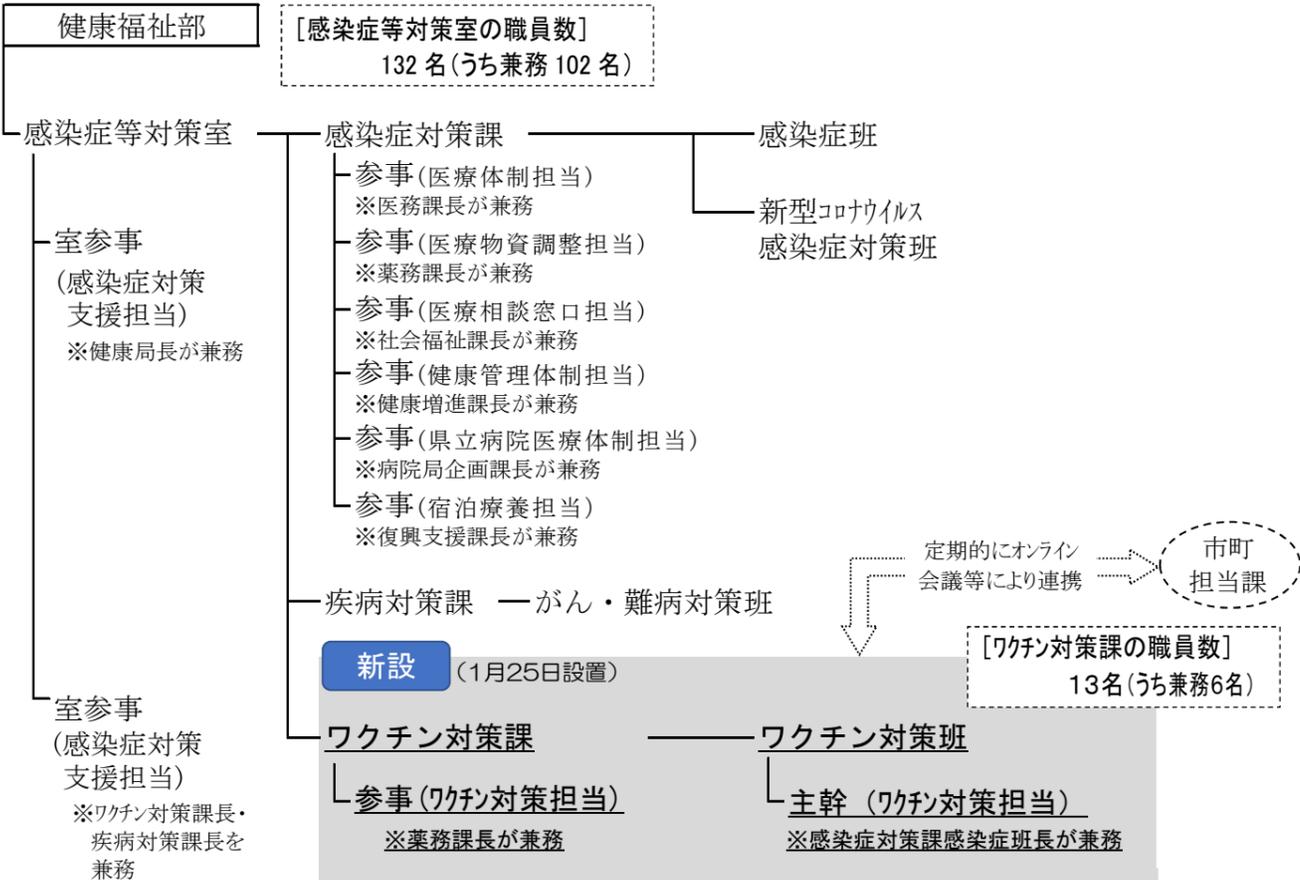
2 新型コロナウイルス感染症対策本部事務局の体制整備

ワクチン対策課の設置に伴い、新型コロナウイルス感染症対策本部事務局対策局に「ワクチン対策班」を設置

【ワクチン接種における役割分担】

区分	役割
国	・接種順位の決定 ・ワクチンの一括購入 ・接種の推進等に係る財政的措置 ・流通量等をクラウド上で把握する「ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）」の整備 等
県	・医療従事者への優先接種 ・ワクチンの流通調整 ・市町支援 ・専門的相談対応 等
市町	・高齢者への優先接種 ・その他住民への接種 ・ワクチン接種券の配付 ・住民への接種勧奨 ・接種手続等に関する一般相談対応 等

【ワクチン対策課の組織体制】



【ワクチン対策課が担う業務】

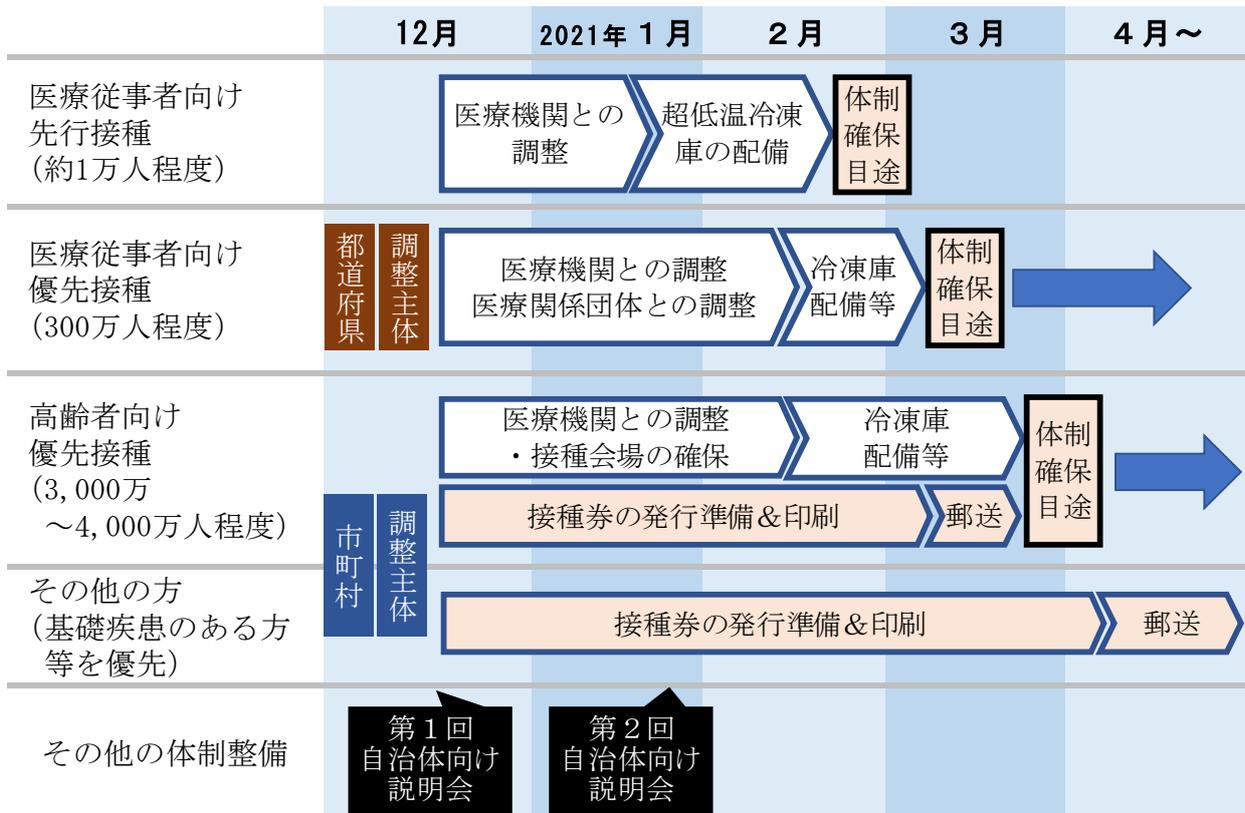
医療従事者への優先接種	・医療機関や関係団体等との調整 ・超低温冷凍庫の配置施設の調整 ・接種予定者リストの作成 ・接種会場の確保調整 等
ワクチンの流通調整	・ワクチン卸売業者との調整 ・ワクチン流通量の調整 ・ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）（※）の入力・システム管理 等 （※）国・県・市町が割当量や接種実績等を入力するシステム
市町支援	・接種会場等に関する広域調整 ・助言、連携、情報共有 等
専門的相談	・専門的相談の実施（総合案内、副反応等相談、専門相談等） ・コールセンターの設置・運営
その他	・ワクチン接種等に関する広報 等

※業務委託による実施も検討

1 国・県・市町の役割分担

区分	役割
国	・接種順位の決定 ・ワクチンの一括購入 ・接種の推進等に係る財政的措置 ・流通量等をクラウド上で把握する「ワクチン接種円滑化システム (V-SYS)」の整備 等
県	・医療従事者への優先接種 ・ワクチンの流通調整 ・市町支援 ・専門的相談対応 等
市町	・高齢者への優先接種 ・その他住民への接種 ・ワクチン接種券の配付 ・住民への接種勧奨 ・接種手続等に関する一般相談対応 等

2 ワクチン接種体制の構築スケジュール



※接種順位は現在の国の検討状況に基づく

3 ワクチンの特性 (1月20日時点での想定)

区分	ファイザー社	アストラゼネカ社	武田/モデルナ社
規模	1.44億回分 7.2千万人×2回接種	1.2億回分 6千万人×2回接種	5千万回分 2,500万人×2回接種
接種回数	2回 (21日間隔)	2回 (28日間隔)	2回 (28日間隔)
保管温度	-75°C±15°C	2~8°C	-20°C±5°C
1バイアルの単位	6回分/バイアル	10回分/バイアル	10回分/バイアル
最小流通単位	195バイアル (1,170回分)	10バイアル(100回分) ※供給当初300万バイアル分 2バイアル(20回分) ※残り900万バイアル分	10バイアル (100回分)
バイアル開封後の保存条件	(室内で融解後、接種前に生理食塩液で希釈) 希釈後、室温で6時間	(一度針をさしたものを以降) 室温で6時間 2~8°Cで48時間 希釈不要	(一度針をさしたものを以降) 室温で6時間 2~25°Cで6時間 (解凍後の再凍結は不可) 希釈不要

※ワクチンは全て薬事承認前であるため、予定の情報